

逗子市高齢者保健福祉計画

【事業進行管理表】



事業名	地域包括ケアシステム推進事業		
【総合計画の体系】	第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 1-3 2 3 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまち		
所管名	1410 社会福祉課	<input checked="" type="checkbox"/> リーディング事業 <input type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】 610,912 千円

事業概要	目的	重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築し、推進する。
	対象	65歳以上の高齢者もしくは要支援・要介護認定者及び高齢者を支える自治会・町内会、ボランティア、介護事業者等
手段	地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じてシステムを構築する。・地域の課題の把握と社会資源の発掘(ニーズ調査、課題の把握、社会資源の発掘)・地域の関係者による対応策の検討(介護保険事業計画の策定、地域包括ケア会議等)・対応策の決定、実行(介護サービス、医療介護との連携、生活支援、住まい、人材育成)	

年度別計画	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
	○地域包括支援センターの運営	→→→→→	→→→→→	→→→→→
・総合相談支援	→→→→→	→→→→→	→→→→→	→→→→→
・在宅医療・介護連携の推進	→→→→→	→→→→→	→→→→→	→→→→→
・認知症施策の推進	→→→→→	→→→→→	→→→→→	→→→→→
・生活支援サービスの体制整備	→→→→→	→→→→→	→→→→→	→→→→→
○地域包括ケア会議の開催	→→→→→	→→→→→	→→→→→	→→→→→
○小規模多機能型居宅介護、随時対応型訪問介護看護を実施する事業所の公募	→→→→→	→→→→→	→→→→→	→→→→→

目標【2022(令和4)年度】	現状【2013年度末】
小規模多機能型居宅介護が3箇所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が1箇所 所で実施されている。	小規模多機能型居宅介護1箇所 定期巡回・随時対応型訪問介護看護0箇所

<2022年度 進捗状況>	事業費(2022(令和4)年度実績額)	2,183,535 円
---------------	---------------------	-------------

実施結果	<p>○市主催の地域包括ケア会議を2回、各地域包括支援センター主催の地域ケア会議を18回実施した。コロナ禍における介護予防のための検討や、認知症の理解、地域での見守りの必要性等をテーマに開催した。</p> <p>○基幹型センターを中心に「介護予防のための地域ケア会議」を9回実施、リハビリテーション等専門職を助言者として、自立支援を目指す介護予防ケアマネジメントを検証した。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

反省点・問題点	<p>・多職種、多機関との連携を図るにあたり、地域包括ケア会議の場の更なる活性化が必要である。</p> <p>・本市は地域共生社会の実現を目指しているところであるが、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの検証が為されていなかった。</p>	工夫している点	<p>地域包括ケア会議の場における情報提供の手法として、参加団体から課題等を記載した情報共有シートを事前に提出してもらい、シートを基に質疑応答等を行った。</p>
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------	-----------------------------------------------------------------------------------

<目標【2022年度】に対する評価>			
進捗状況	結果	評価を(b)にする理由	事業評価
平成29年4月に定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が1箇所開設。平成30年4月に小規模多機能型居宅介護事業所が1箇所開設されたことにより、市内で計3箇所が開設した。	ア目標を達成できた		(a) 本事業の目的は達成できた

<審議会・懇話会等の意見>	審議会等が妥当と考える評価区分

逗子市高齢者保健福祉計画

【事業進行管理表】



事業名		地域包括支援センター運営事業		
【総合計画の体系】		第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち		
1-3 1		3 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまち		
所管名	1410	社会福祉課	<input type="checkbox"/> リーディング事業 <input checked="" type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】 千円

事業概要	目的	介護保険法の規定に基づく地域包括支援センターに関する業務を運営する。
	対象	要支援・要介護認定を受けている者又は要介護状態となるおそれのある高齢者とその家族
	手段	逗子市社会福祉協議会及び医療社団法人清光会へ運営を委託する。地域包括支援センターの業務効率化や、市との連携の円滑化を推進するため、プライベートネットワークを使用したソフトウェアを使用し、業務管理を行う。

年度別計画	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
	○高齢者に限らず、障がい、子ども、子育て、生活困窮者に対応する相談支援体制を構築する ○各センターに包括化相談支援推進員を配置	○高齢者に限らず、障がい、子ども、子育て、生活困窮者に対応する相談支援体制を構築する ○各センターに包括化相談支援推進員を配置	【第8期逗子市高齢者保健福祉計画策定後(令和2年度末)に年度別計画を記載する】	【第8期逗子市高齢者保健福祉計画策定後(令和2年度末)に年度別計画を記載する】

目標【2022(令和4)年度】		現状【2013年度末】
地域共生社会の実現を推進し、高齢者に限らず、障がい、子ども、子育て、生活困窮者に対応する相談支援体制を日常生活圏域内に3ヶ所整備する。		0ヶ所

<2022年度 進捗状況>	事業費(2022(令和4)年度実績額)	66,281,212 円
---------------	---------------------	--------------

実施結果	○令和2年度から市社会福祉課地域共生係に業務を移管し、市内3か所の地域包括支援センターに対する人材育成等の後方支援を行い、地域包括支援センターの機能強化に努めた。	
	○これまでの高齢者等を対象とした業務に加えて、地域の福祉的な総合相談窓口として属性を問わない包括的相談相談支援事業を中心として、参加支援事業、地域づくり事業、多機関協働事業等の業務を担い、重層的支援体制整備事業の中核を担う。	
	○ダブルケアや引きこもり等の複合的な課題に対する総合相談を受け付け(計39件)、各関係機関と各地域包括支援センターの連携による支援を行った。	

反省点・問題点	・複合的な課題を有する者に対する積極的な訪問支援(アウトリーチ事業)の本格的な施行ができなかった。 ・重層的支援体制整備事業の実施にあたり、体制の整備及び職員の資質向上が必要。	工夫している点	職員の能力向上に向け、各地域包括支援センターとの協働による重層的支援体制整備事業に対する勉強会等を継続的に実施している。
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------	---------	--------------------------------------------------------------

<目標【2022年度】に対する評価>			
進捗状況	結果	評価を(b)にする理由	事業評価
市内3箇所の日常生活圏域において地域包括支援センターを開設し、包括的相談支援事業を中心として、本市の重層的支援体制整備事業の中核を担っている。	ア目標を達成できた		(a) 本事業の目的は達成できた

<審議会・懇話会等の意見>	審議会等が妥当と考える評価区分

逗子市高齢者保健福祉計画

【事業進行管理表】



事業名	介護予防・日常生活支援総合事業(健康寿命を延ばしてみんなで元気な高齢者をめざす取り組み)		
【総合計画の体系】	1-3	4	第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 3 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまち
所管名	1410 社会福祉課・高齢介護課	<input checked="" type="checkbox"/> リーディング事業 <input type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015~2022年度】 1,219,427千円

事業概要	目的	全国一律のサービス内容であった訪問介護や通所介護については、介護事業所による既存のサービスに加えて、多様な主体による多様なサービスが提供され、利用者がサービスを選択することができるようにする。
	対象	65歳以上の高齢者もしくは要支援・要介護認定者及び高齢者を支える自治会・町内会、ボランティア、介護事業者等
	手段	対象者のニーズに合った多様な生活支援サービスが利用できる地域資源の開発や人材を育成するために、生活支援コーディネート業務を逗子市社会福祉協議会に委託する。介護予防給付のうち、訪問介護及び通所介護を給付から地域支援事業へと移行するに当たっては、多様な主体による柔軟な取り組みにより効果的かつ効率的に生活支援サービスを提供していく。また、全庁的、全市的な協力や連携をすることで、みんなで元気な高齢者をめざす取り組みを展開する。

年度別計画	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
○庁内各課及び関係機関との連携による介護予防・生活支援サービスの提供		→→→→→	→→→→→	→→→→→

目標【2022(令和4)年度】	現状【2013年度末】
「元気な高齢者」(65歳以上の高齢者のうち、要支援・要介護者認定を受けていない者)の割合が83パーセント以上になっている。	80.4パーセント

<2022年度 進捗状況>	事業費(2022(令和4)年度実績額)	19,190,384 円
---------------	---------------------	--------------

実施結果	<p>○社会福祉課、国保健康課及び高齢介護課との協働により「健康寿命を延ばしてみんなで元気な高齢者をめざす取り組み」を行った。また、作業療法士、理学療法士等のリハビリテーション専門職等を通いの場等へ派遣し、介護予防における活動の充実を図った。</p> <p>○介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービスCはコロナ禍により規模を縮小して実施した。なお、訪問型サービスBについては2022年度中に1事業所が廃止となった。</p> <p>○個人でも参加できる「ウォーキング」を中心とした取り組みである「てくtec逗子」を実施。事業参加者のデータを活用し、今後の介護予防の取り組みを検証した。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

反省点・問題点	元気な高齢者の割合(65歳以上であって、要支援・要介護の認定を受けていない者)を増やすための、効果的・効率的な全市的な介護予防の取り組みが必要。	工夫している点	新型コロナによる活動自粛中においても、単独で実施できる「ウォーキング」を中心とした取り組みである「てくtec逗子」を実施。健康寿命を延伸する取り組みを行った。
---------	--------------------------------------------------------------------------	---------	---------------------------------------------------------------------------------

<目標【2022年度】に対する評価>

進捗状況	結果	評価を(b)にする理由	事業評価
元気高齢者の割合 78.45%	イ 目標を達成できなかった		(c) 本事業の目的は達成できなかった

<審議会・懇話会等の意見>

	審議会等が妥当と考える評価区分
--	-----------------

逗子市高齢者保健福祉計画

【事業進行管理表】



事業名		介護予防普及啓発事業			
【総合計画の体系】		第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 1-3 5 3 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまち			
所管名	1430	高齢介護課	<input type="checkbox"/> リーディング事業	<input checked="" type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】 千円
事業概要	目的	高齢者自らが主体となり、一般市民と共同し、日常生活の基本ともいえる筋力強化による運動奨励施策に加え、自立健康者への応援と、寝たきりゼロ運動推進を目指して、介護サービスを受けない高齢者づくりを推し進める。			
	対象	市内在住の高齢者			
	手段	シニア健康教室として実施する。			
年度別計画	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度	
	○シニア健康教室の開催(ズシッブ連合会に委託)	○シニア健康教室の開催(ズシッブ連合会に委託)	【第8期逗子市高齢者保健福祉計画策定後(令和2年度末)に年度別計画を記載する】	【第8期逗子市高齢者保健福祉計画策定後(令和2年度末)に年度別計画を記載する】	
	目標【2022(令和4)年度】		現状【2013年度末】		
	「元気な高齢者」の割合が83パーセントになっている。		80.4パーセント		

<2022年度 進捗状況> 事業費(2022(令和4)年度実績額) 250,000 円

実施結果	高齢者の寝たきりゼロ運動推進を目指して、介護サービスを受けない高齢者づくりを指し進めることを目的として、シニア健康教室(ズシッブ連合会に委託)を開催した。 (23回/年、延べ590人参加)	
反省点・問題点	工夫している点	シニア健康教室については、前期高齢者(65～74歳)の参加が多く、今後も参加しやすい健康教室等の運営を実施していく。

<目標【2022年度】に対する評価>

進捗状況	結果	評価を(b)にする理由	事業評価
元気高齢者の割合 78.45% (2023年3月末現在)	イ 目標を達成できなかった	コロナ禍により、一部休止したイベントはあるものの、シニア健康教室は実施できた。	(b) 本事業の目的は概ね達成できた

<審議会・懇話会等の意見>

	審議会等が妥当と考える評価区分
--	-----------------

逗子市高齢者保健福祉計画

【事業進行管理表】



事業名		高齢者の生きがいと健康づくり推進事業		
【総合計画の体系】		第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 1-3 6 3 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまち		
所管名	1430 高齢介護課	<input type="checkbox"/> リーディング事業	<input checked="" type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】 千円
事業概要	目的	高齢者自身の人生を豊かにするために高齢者が互いにふれあい、学びあう講座等を開催し援護する。		
	対象	市内在住の高齢者		
	手段	ヨガ教室や英会話教室等、教養講座5講座を開催		
年度別計画	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
	○高齢者教養講座講師謝礼金(初心者のヨガ教室、寺子屋、英会話教室、プチフラワー、手品教室) ○高齢者教養講座事業委託(ズシッブ連合会へ委託)	○高齢者教養講座講師謝礼金(初心者のヨガ教室、プチフラワー、歴史講座、高齢社会を生き抜く講座) ○高齢者教養講座事業委託(ズシッブ連合会へ委託)	【第8期逗子市高齢者保健福祉計画策定後(令和2年度末)に年度別計画を記載する】	【第8期逗子市高齢者保健福祉計画策定後(令和2年度末)に年度別計画を記載する】
目標【2022(令和4)年度】			現状【2013年度末】	
「元気な高齢者」の割合が83パーセントになっている。			80.4パーセント	

<2022年度 進捗状況> 事業費(2022(令和4)年度実績額) 636,000 円

実施結果	高齢者自身の人生を豊かにするために高齢者が互いにふれあい、学びあう講座等(ズシッブ連合会に委託)を開催した。 延べ62回/年、延べ1,265人参加 内訳○歴史講座(16回/年、延べ602人参加) ○高齢者講座(13回/年、延べ312人参加) ○麻雀教室(24回/年、延べ288人参加) ○ハンドメイド教室(9回/年、延べ63人参加)	
	反省点・問題点	工夫している点 次の事業展開に向けて、ズシッブ連合会と協議しながら、事業実施している。

<目標【2022年度】に対する評価>

進捗状況	結果	評価を(b)にする理由	事業評価
元気高齢者の割合 78.45% (2023年3月末現在)	イ 目標を達成できなかった	コロナ禍により、一部休止したイベントはあるものの、歴史講座、高齢者講座、麻雀教室及びハンドメイド教室は実施できた。	(b) 本事業の目的は概ね達成できた

<審議会・懇話会等の意見>

	審議会等が 妥当と考える 評価区分
--	-------------------------

逗子市高齢者保健福祉計画

【事業進行管理表】



事業名		高齢者介護予防事業	
【総合計画の体系】	1-3	3	第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 3 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまち
所管名	1410	社会福祉課	<input type="checkbox"/> リーディング事業 <input checked="" type="checkbox"/> 基幹計画事業 計画事業費【2015～2022年度】 千円

事業概要	目的	要介護状態になるおそれがある高齢者(二次予防事業対象者)や一般の高齢者に対し、要介護状態とならないように支援する。
	対象	要支援・要介護認定を受けていない第1号被保険者
	手段	一般高齢者に対する体操等の教室や、二次予防事業対象者を選定した後、運動、口腔・栄養教室を開催する。また、地域で介護予防に資する活動を定期的に行っている団体に対し、健康運動指導士その他専門職の派遣や活動費の助成の支援を行う。

年度別計画	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
		「元気な高齢者」の割合が83%以上となっている。 市内の高齢者サロンが25ヶ所、延参加者数が13,000人となっている。	「元気な高齢者」の割合が83%以上となっている。 市内の高齢者サロンが25ヶ所、延参加者数が13,000人となっている。	【第8期逗子市高齢者保健福祉計画策定後(令和2年度末)に年度別計画を記載する】
	目標【2022(令和4)年度】		現状【2013年度末】	
	「元気な高齢者」の割合が83パーセント以上になっている。 また、市内の高齢者サロンが25か所、延べ参加者数が13,000人になっている。		80.4パーセント 18か所、延べ約9,600人	

<2022年度 進捗状況>	事業費(2022(令和4)年度実績額)	5,411,848 円
---------------	---------------------	-------------

実施結果	○介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果に基づき、要介護状態の恐れがある者を抽出、地域包括支援センター職員が自宅を訪問し、早期の介護予防活動に繋がる支援を行った。 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、サロン活動の縮小及び中止をした団体が数多くみられた(補助金交付団体19箇所)。また、感染対策マニュアルを作成して配布し、サロン活動を実施する際に安全な活動ができるよう支援を行った。	
	反省点・問題点	工夫している点
	・サロンの活動自体が低下傾向にあるなかで、コロナ禍で更に活動が縮小する傾向があったことから、継続発展のための支援を行う必要がある。	対面による状況把握が難しいことから、電話やはがき等を活用して状況把握を行った。

<目標【2022年度】に対する評価>

進捗状況	結果	評価を(b)にする理由	事業評価
元気高齢者の割合 78.45% 市内高齢者サロン19箇所	イ 目標を達成できなかった		(c) 本事業の目的は達成できなかった

<審議会・懇話会等の意見>

	審議会等が妥当と考える評価区分
--	-----------------

逗子市高齢者保健福祉計画

【事業進行管理表】



事業名		認知症地域支援推進事業		
【総合計画の体系】		第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち		
1-3 7		3 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまち		
所管名	1410	社会福祉課	<input type="checkbox"/> リーディング事業 <input checked="" type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】 千円
事業概要	目的	認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で、生活を継続するための支援体制を構築する。		
	対象	認知症の高齢者もしくはその家族及び認知症の人を支える自治会・町内会、ボランティア、介護事業者等		
	手段	医療機関や介護サービス等の連携を図るための支援や、認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う認知症地域支援推進員を配置し、支援体制を構築する。市民が自らの認知症の程度について、簡易判定ができるシステムを導入する。また、認知症キャラバンメイトが、地域、職域、学校等において認知症サポーター養成講座を実施する。		
年度別計画	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
	認知症サポーター養成講座の開催 認知症初期集中支援チーム員会議の開催 家族のための物忘れ相談会の実施	認知症サポーター養成講座の開催 認知症初期集中支援チーム員会議の開催 家族のための物忘れ相談会の実施	【第8期逗子市高齢者保健福祉計画策定後(令和2年度末)に年度別計画を記載する】	【第8期逗子市高齢者保健福祉計画策定後(令和2年度末)に年度別計画を記載する】
	目標【2022(令和4)年度】		現状【2013年度末】	
	認知症サポーターが3,000人になっている。		1,000人	

<2022年度 進捗状況> 事業費(2022(令和4)年度実績額) 869,193 円

実施結果	<p>○サポーター養成講座は国のプログラム・開催時間90分以上等条件が厳しく、コロナ禍で開催がきわめて限られていたこの3年間であったが4年度後半になって社会動向を見ながら開催を復活させている状況。 一般市民向け開催 3回(計28名) 市内自治会対象 1回(33名) 社会福祉協議会送迎ボランティア対象 1回(8名) 市職員対象 2回(計19名) 市内中学性対象 1回(95名) の8回(183名)開催。 ○初期集中支援チーム会議 11回開催 14ケース検討 ○家族のための物忘れ相談愛 11回開催 8ケース相談 ○認知症講演会 1回開催</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

反省点・問題点	2013年度に設定したサポーター3,000名の目標は超えており、新たな目標設定が必要ではないか。	工夫している点	認知症初期集中支援チーム員会議において、本人・家族以外にも地域包括支援センターから出された案件も受け付け、専門的な見地からのアドバイスを行った。
---------	--------------------------------------------------	---------	--------------------------------------------------------------------------

<目標【2022年度】に対する評価>

進捗状況	結果	評価を(b)にする理由	事業評価
認知症サポーター数3,705人	ア目標を達成できた		(a) 本事業の目的は達成できた

<審議会・懇話会等の意見>

	審議会等が妥当と考える評価区分
--	-----------------